

市長と子育てトーク会報告書

2023

はじめに

寝屋川市は、昭和35年から昭和50年の間に急激に人口が増えたことに伴い、現在は、当時の新住民がシルバー世代となられるなど、将来にわたり、持続可能な経営を行っていくためには、子育て世代を中心とした若い世代の皆様にも、本市を選んでいただき、人口の年齢構成のリバランスを図っていかねばなりません。



こうした課題への対応として、子育てしやすいまちづくりを進めるため、子育て世代が日常生活の中で抱えている“リアルな声”を直接お聴きし、忌憚なく意見交換を行う場として、子育て世代を対象とした「子育てトーク会」を実施しました。

トーク会に参加していただいた皆さんと、子育て支援に対する考え方や将来のビジョンについて、対話をさせていただくことで、様々な気づきや市政への御意見を頂きました。

今回のトーク会では、多くの方から御応募頂き、23 の方に御参加いただき、意見交換できましたこと、大変感謝しています。

引き続き、本市ならではの強みや独自性を創出することで市民の皆様の誇りと市外からの憧れを醸成し「選ばれるまち」への成長を加速してまいりますので、市民の皆さんの御理解と御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

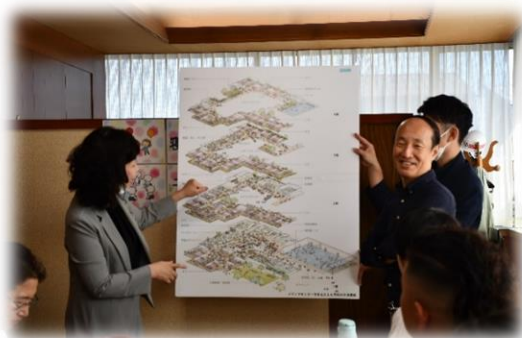
令和5年 12 月

寝屋川市長 **広瀬慶輔**

目次

I 開催概要	1
1. 目的	2
2. 開催日程	2
3. 参加対象者	2
4. 頂いた御意見の活用	2
5. 市長からの寝屋川市の現状等の説明内容(各回冒頭)	2
II 意見交換の内容	3
第1回	4
第2回	8
第3回	12
III 参加者アンケート結果	16

I 開催概要



1 目的

市長と子育て世代の市民が直接対話することで、子育てに関する課題等を把握し、子育てしやすいまちづくりにつなげるため、子育てトーク会を実施した。

2 開催日程

(1) 日時

9月23日(土) 9月25日(月) 9月27日(水) 各回 午前10時30分～

(2) 場所

市長室

(3) 参加人数 計23人

※ 当日は参加者に寝屋川市ガイドブック「寝屋川移住計画」「PIAZZA チラシ」を配布

3 参加対象者

寝屋川市在住で未就学児を持つ方、妊娠中の方

4 頂いた御意見の活用

トーク会で頂いた御意見については、庁内関係課で共有し、今後の施策・事業を進める上での参考とする。

5 市長からの寝屋川市の現状等の説明内容(各回冒頭)

寝屋川市は昭和35年から昭和50年までの間、爆発的に人口が増加したことに伴い、急速的なまちづくりが進められ、公共施設においても同時期に一斉に整備がされた。その結果、同じタイミングで、公共施設の老朽化に伴う再整備、高齢化による社会保険料の増加、人口や税収の減少に直面している。

これらの課題を解決するために、若い世代の人口を増やし、高齢者世代と若者世代のバランスを図る必要がある。若者世代の誘因には、良好な住環境や教育環境の整備が重要とされ、市ではその一環として、子育て環境の充実、教育改革に力を入れている。

また、若者世代を誘引することにより、シルバー世代への行政サービスの維持・充実につながり、全ての世代の寝屋川市民の満足につながると考えている。これからも、他市にはない、特色ある取組をより一層推進することで、市民の満足度と利便性を向上させて「選ばれるまち寝屋川」を目指していきたいと考えている。

Ⅱ 意見交換の内容

第1回

日 時 : 令和5年9月 23 日 土曜日
場 所 : 市長室
参加人数 : 9人

小中一貫校の増設・運用について**【市民】**

小中一貫教育を拡充してほしい。急な増設は難しいと思うが、他市であれば自転車通学範囲内の小中一貫校を選択できる制度がある。制度導入の検討をお願いしたい。

【市長】

小中一貫校について、方針は今後出していきたいと考えている。公共施設全体に関わることであり、寝屋川市では、人口増加に伴い同時期に、学校を含めた公共施設が一斉に建設されたため、それらのメンテナンスや改修が同時期に必要となってくる。現在、内部で公共施設全体のダウンサイジングを検討しており、約 10%程度公共施設の床面積を減らす必要がある。公共施設全体の 50%後半を占める学校をどうするかを基本に、他の公共施設と複合化し、施設一体型の方法等を検討している。その中で、校区の自由化についても一つの選択肢であると思う。様々な問題があるのですぐにはできないが、柔軟に考えていきたい。

留守家庭児童会の利用校区エリアの拡充・選択について**【市民】**

地域外の学校に通っている子どもたちも地域の留守家庭児童会に通えるようにしてほしい。他市では、私立や国立の小学校に通っていても地元の学童保育が利用できる制度がある。

【市長】

留守家庭児童会の在り方については、教育に力を入れたいと考えており、現場の対応も含めた新たな取組手法について検討を進めている。

子育て世代施策のPR戦略、ブランディング及び市のキャッチコピーについて

【市民】

子育て世帯への無償化の施策について、子育て世帯により住みやすいまちにするため、他市町村においても様々な施策が進められている。その中で他市との差別化をどう図るか、市としてどのようにPRしていくか教えてほしい。

【市長】

無償化については、他自治体は既に進められており、寝屋川市は遅れを取っている。他市と同レベルまで引き上げ、同時に、競争優位となる施策を戦略的に実施することで、他市に負けない「選ばれるまち」にしていく。市の施策のブランディングは非常に重要であり、印象に残る取組を一つのパッケージとしてまとめあげていく。更に、実施するタイミング、社会的な意義、報道機関への見せ方を重要な視点として取り組んでいる。

学校給食の食育の充実、牛乳の考え方について

【市民】

私立の保育園の給食について、小魚せんべい、牛乳などが提供されており、アレルギー体質にならないか不安に感じている。

【市長】

これまで牛乳が学校給食において、栄養の側面から必要不可欠とされていた。牛乳に対する考え方、物価の高騰等、様々な問題があり、少し時間をかけて考える必要がある。

保育園の増設について

【市民】

今後子どもを、保育園に入れたいと思っているが、入所の難易度が高いと聞いている。マンションにファミリー層が増えた場合、さらに保育園への需要が高まる可能性も考えられる。今後、子どもを保育園に入れることができないかもしれない、という状況が不安である。

【市長】

現在、寝屋川市は待機児童はいないが、希望の保育所に入所できない方は一定数おられ、隠れ待機児童の問題が生じている。隠れ待機児童の問題を改善するために、保育士確保等の柔軟な対応が必要である。全ての保護者の希望を実現させるのは難しいが、可能な限り希望に近い環境で子どもを預かれるような方法を模索したい。

梅が丘小学校の留守家庭児童会の継続利用について

【市民】

現在、子どもが梅が丘小学校に通学しており、来年から望が丘小学校に通学をする予定としている。今の自然環境豊かな学校がなくなること寂しさを感じている。

【市長】

望が丘小学校は、開校に向けて準備が着々と進められており、担税力のある市民の流入も見込んでいる。現在の梅が丘小学校は自然環境が豊かであるが、学校環境の見直しと自然環境の維持を両立させることは難しい。今回、新たに計画している望が丘小学校では、地域の交流を重視した出前講座等を行うことも検討しており、こだわりの施設、施策、教育等で、評価を受けられるようにしていきたい。

子育て支援施設の不足について

【市民】

高宮周辺に住んでいるが、保育園を始め、子育てに関する施設の数が少ない。最近では新しい家族も増えてきている地域なので、子育て支援施設を増設してほしい。

【市長】

地域の子育て拠点は必要だが、公共施設の新設は施設の維持、管理の問題から難しいと考えている。民間保育園などの既存の施設を活用しながら何か検討したい。公共施設については、ダウンサイジングを進めなければならない状況だと認識しており、市民サービスのターミナル化を進め、市民を動かさないシステムを作っていきたいと考えている。

第1回参加者



第2回

日 時 : 令和5年9月 25 日 月曜日
場 所 : 市長室
参加人数 : 8人

保育園の入所基準、支援対象の見直しについて

【市民】

子育て支援サービスの無償化について、働いていない人たちが利益を得るケースがあり公平さに欠けていると感じる。給食費の無償化といった公平な方法の方が理解しやすい。一時預かりの制度は存在しているが実際には運用していない場合がある。

【市長】

一時預かりの利用について、突発的な需要に対応するのは、行政等にとって難しいと感じている。特に、施設の定員が満員になると、柔軟な対応が難しくなるため、寝屋川市駅周辺での一時預かりの検討等、現在の運営方法自体を見直すことが必要と考えている。

保育制度の不正利用については、厳格な対応に努めているが、ルールを厳格にしすぎると、本当に困っている人々が利用できなくなる可能性も考えられるので、バランスをみながら進めていく必要がある。

体育館の増設、設備機能の拡充について

【市民】

小学校の体育館にエアコンがないため、集中して練習できない。市民体育館が唯一の施設であるが家から遠方であるため利用が困難。体育施設の増設を検討願いたい。

【市長】

公共施設については、床面積 10%削減を目標に掲げており、増設はしない方針である。学校施設についても老朽化が進んでおり、建替えを検討する場合、他の公共施設と併設するなど、公共施設の複合化も視野に入れて検討をしている。一方で、利用

者にとって利用しやすい環境整備として、全小学校の体育館へのエアコン設置を検討している。

大阪公立大学高専の跡地活用について

【市民】

大阪公立大学高専の跡地活用はできないか。

【市長】

大阪公立大学高専の跡地は大阪府の土地であるため、現時点では市として活用をすることはできない。現在、寝屋川市は開発余地が少なく、住宅を建てる場所が少ない。今後、大阪府との調整になってくるが、住宅等への活用を検討したい。

障害児ケア施策の充実について

【市民】

障害児の施策について、親がいなくなった場合でも安心してケアができ、サービスを受け続けることができる体制が必要ではないか。

【市長】

親亡き後もしっかりと対応していくため、市町村単位だけでなく、広域的な視点から考える必要があると考えており、大阪府などに積極的に要望していきたい。現状では、市民の皆さんから多くの懸念の声を耳にしていることから、安心して過ごせる環境を整備するための施策を進めることが必要だと考えている。

ゆとりある保育サービス及び保育士の不足について

【市民】

保育士やスタッフの人数を増やすのは必要であるが、子どもの人数が増えることで保育の質が低下する可能性もあり、保育環境に余裕がなくなることを懸念している。

【市長】

保育園のニーズは地域によって差がある。例えば、一般的に駅から近いところほど保育園の利用倍率が上がる一方、駅から遠くなれば、利用は減少する傾向にあり、特

定の保育園に子どもが偏らないよう地域ごとのニーズに応じた調整が必要と考えている。隠れ待機児童の問題を解消するため、定員に対して柔軟に対応できる仕組み作りを検討していく必要がある。

保育園の改修工事に伴う園庭の代替措置について

【市民】

保育園の改修工事における改修期間の園庭の代替策について、次年度にならないと分からないと保育園から回答があり、対応に疑義がある。

【市長】

代替場所の確保については、来年度にならなければ確定しないことはあるが、近くにある小学校や他の保育園、幼稚園を活用した事例もあり、各施設にご相談頂ければ対応ができると考えている。

望が丘小・中学校の現時点での情報について

【市民】

望が丘小・中学校の現時点の状況を教えてほしい。

【市長】

体育館はすでに使用が始まり、他の校舎もほとんど完成し、令和5年12月末には竣工する。今後、各種設備の備品等の搬入を行い、令和6年度の春に予定通り開校する。

空き家対策及び道路の拡張について

【市民】

高齢化が進行し空き家が目立つ。歩道がなく救急車が通れない狭い道も多く、道路幅の拡張の必要があるのではないか。

【市長】

現在、寝屋川市駅西側の対馬江大利線の開通に向けて工事を進めている。道路の改善には予算の確保など課題が多く、香里園駅周辺の道路改修に取り掛かるには時間を要する。空き家対策としては、若い子育て世代が住みたいと思えるような、環境

づくりを進めることが必要であると考えており、空き家を動かす仕組みづくりについて、前向きに進めていきたい。

職場併設型の保育園について

【市民】

介護士として働いており、自分の職場にも保育施設の設置をお願いしたい。

【市長】

民間企業の中には、自社で企業型の保育園を運営しているところがあるが、企業のサービスの一貫として、企業型の保育園は成り立っていると考えられる。しかし、それを行政が行うのは難しいと考えている。

本当に保育サービスが必要な家庭への支援、入所の厳密な審査について

【市民】

本当に保育サービスが必要な家庭へ支援し、保育園への入所の審査を厳格にしてほしい。

【市長】

育児をするに当たって、保護者が直面する課題、ケースは家庭によって様々であり、場合によっては虐待に発展するケースも存在する。全体としての最適な解決策を見つけるためには、保育士と親双方のニーズを理解し、それに対応する形で政策や制度を改善していくことが求められる。不正に入所している状態は、市として防いでいかないといけないと考えている。

第2回参加者



第3回

日 時 : 令和5年9月 27 日 水曜日

場 所 : 市長室

参加人数 : 6人

公園の役割・配置について

【市民】

公園の役割・配置についてはどのように考えているか。

【市長】

公園については、年齢や利用者のニーズに合わせた遊具の配置、利用者の声を反映した改善を行っていきたいと考えている。例えば、小さな子どもたちが遊べる公園、シルバー世代が楽しめる公園など、それぞれの世代が満足できるような公園を整備することが、重要だと考えている。地域の特色を考慮し、その中で各公園がそれぞれの特徴を持つことで、世代間の満足度が高まり、結果として、全体の満足度は前よりも上がる可能性がある。騒音問題やごみ問題等様々な意見があるので、難しい課題だが、公園の在り方については、見直しを検討している。

あかつき・ひばり園における預かり時間の延長について

【市民】

あかつき・ひばり園における預かり時間の延長はできないか。

【市長】

専門の指導員の勤務時間等もあるため、現状、需要等について調べる。

あかつき・ひばり園と民間のデイサービスの併用利用について

【市民】

あかつき・ひばり園と民間のデイサービスの併用利用はできないか。

【市長】

現状、実態等を調べてみる。障害者支援については、広域的な視点、都道府県単位で進めていく必要があると考えているが、市としてもできることをしっかり考えていきたい。

夏休み、冬休み期間中の留守家庭児童会の運用について

【市民】

日が明るい時間帯があれば、子どもが自分たちで帰れる、姉妹兄弟がいる場合は子どもたちだけで帰ることができるといった柔軟な対応ができる制度があると助かる。また、夏休み期間だけの預け入れも検討してほしい。

【市長】

現在、留守家庭児童会の在り方について、内容の充実と共に弾力的な運営方法の検討を進めている。

香里園地区の病児保育について

【市民】

香里園地区の病児保育についてはどのように考えているか。

【市長】

病院への働きかけは行っているが、行政だけではなく、病院の協力が必要となる。バランスをとっていけるように考えていきたい。

自転車マナー及び狭隘道路の整備について

【市民】

通行幅が狭い場所での自転車が多く、自転車マナーが悪いため対策してほしい。

【市長】

道が十分に整備されておらず危険な箇所があると認識している。市を挙げたマナーアップキャンペーンをしたいと考えており、歩行中の喫煙やポイ捨て、自転車の運転マナーなど、徹底的な取り締まりを検討したい。

今後の子育て支援の在り方について

【市民】

今後の子育て支援の在り方はどのように考えているか。

【市長】

現在、駅前図書館を子育て支援の拠点として活用しようと計画している。保育士や

保健師、司書等が常駐し、こどもセンター、一時預かり、相談、遊びなどの機能を集約した施設にしたいと考えている。

リフレッシュカードの配布基準について

【市民】

リフレッシュカードの考え方や配布基準はどういうものか。

【市長】

保健師が必要と感じた保護者に提供できるリフレッシュカードがある。本当に心身ともに疲労が蓄積している人に対してリフレッシュの機会を提供したいと考えている。現場の保健師が利用者と直接対話し、判断することで、より迅速かつ適切な支援が可能となる。

保育士が安心して働くことができる環境について

【市民】

保育園では遅くまで子どもを預かってくれるため、とても助かっている。一方で保育士の負担の大きさに対して不安を感じている。

【市長】

市では、保育士が働きやすい環境整備に向けた取組の一つとして、保育士の家賃補助を行うなど、待機児童 ZERO プランRを推進している。また、寝屋川市の教員の働き方改革も進めたいと考えており、教員の負担を軽減できるようなシステムを整えていきたい。教員の働き方改革を進めることが、子どもたちの教育環境の整備につながると考えている。

子どもが安心して過ごせる環境について

【市民】

子どもたちの居場所についてどのように考えているか。子どもたちが家や地域に居場所があり、安心して過ごせることで、学校での学業に積極的に取り組んだり、言われたことを素直に受け入れたりすることができる。

【市長】

安心して学校生活を送る取組の一つであるいじめ対策として、これまで教育的指導による人間関係の再構築を目的とした「教育的アプローチ」によって解決を図ってきたが、一部には時間がかかるケースがあった。寝屋川市では、これに対し「行政的アプローチ」として、いじめを一刻も早く停止させ、より早く助けを求める声に応えられるようになった。児童・生徒には月一回いじめを訴えることができるチラシを配布しており、攻めの情報収集を行って対応している。しっかりと備えることで、安心して学校生活を送ることができると考えている。

公共施設の再編について

【市民】

自宅から子どもの健診会場が離れているため、不便である。

【市長】

公共施設については、今後集約していく予定である。子どもたちの健診を始め、保健福祉センターにある子ども関連、市役所の手続関係の機能を駅前庁舎に移転する。また、市役所の1階スペースに、池の里市民交流センターにある高齢介護室、障害福祉課等の福祉分野を移し、保健所を保健福祉センターに移す予定である。市民の手続の利便性を高め、不便な地域にあった公共施設を中心部に集約させることで、ダウンサイジングも同時に進めていきたい。

第3回参加者



Ⅲ 参加者アンケート結果

Q1. 今回のイベントについてどこで知りましたか。(複数回答可)

設問	件数	割合
市広報誌・地域情報誌を見て	12件	48.0%
公共施設にあるチラシを見て	2件	8.0%
保育園で配布されたチラシを見て	5件	20.0%
Twitterを見て	2件	8.0%
家族・友人・知人から聞いて	1件	4.0%
市ホームページを見て	3件	12.0%
その他	0件	0.0%
合計	25件	100.0%

Q2. 市長との意見交換について。(どれか一つ)

設問	人数	割合
とても満足	20人	87.0%
やや満足	3人	13.0%
満足	0人	0.0%
やや不満足	0人	0.0%
不満足	0人	0.0%
合計	23人	100.0%

Q3. 1時間というトーク会の時間について。(どれか一つ)

設問	人数	割合
長すぎる	0人	0.0%
少し長い	2人	8.7%
ちょうど良い	15人	65.2%
少し短い	5人	21.8%
短すぎる	1人	4.3%
合計	23人	100.0%

Q4. トーク会の開催曜日と開催時間帯は、次のどれが良いですか。(複数回答可)

平日、土、日祝でそれぞれ午前中(10時～12時)、午後(13時～16時)、夕方(16時～18時)、夜(18時～20時)の中から選択

設問	件数	割合
平日午前	13件	25.4%
平日午後	3件	5.9%
平日夕方	2件	3.9%
平日夜	3件	5.9%
土曜日午前	13件	25.4%
土曜日午後	3件	5.9%
土曜日夕方	3件	5.9%
土曜日夜	3件	5.9%
日曜日・祝午前	5件	9.8%
日曜日・祝午後	1件	2.0%
日曜日・祝夕方	1件	2.0%
日曜日・祝夜	1件	2.0%
合計	51件	100.0%

Q5. 今回のトーク会に参加して良かったと思いますか。(どれか一つ)

設問	人数	割合
とても良かった	22人	95.7%
良かった	1人	4.3%
ふつう	0人	0.0%
あまり良くなかった	0人	0.0%
良くなかった	0人	0.0%
合計	23人	100.0%

Q6. 次回のトーク会にも参加したいと思いますか。(どれか一つ)

設問	人数	割合
ぜひ参加したい	18人	78.3%
都合がつけば参加したい	4人	17.4%
あまり参加したくない	1人	4.3%
もう参加したくない	0人	0.0%
合計	23人	100.0%

Q7. 普段から市内子育て施設の利用、市主催の子育てに関する交流会等のイベントへ参加されていますか。(どれか一つ)

設問	人数	割合
よく利用・参加している	11人	47.8%
利用・参加している	6人	26.1%
あまり利用・参加してない	5人	21.7%
利用・参加していない	1人	4.4%
合計	23人	100.0%

Q8. 寝屋川市の子育て施策・サービスに満足されていますか。(どれか一つ)

設問	人数	割合
とても満足	10人	43.5%
やや満足	7人	30.4%
満足	6人	26.1%
やや不満足	0人	0.0%
不満足	0人	0.0%
合計	23人	100.0%

市長と子育てトーク会報告書 2023(令和5年 12 月)

寝屋川市 経営企画部 企画二課

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号

FAX 072-825-0761

URL <http://www.city.neyagawa.osaka.jp>

E-mail kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp